



☆ 卒 業 ☆

六年 谷 口 ひろみ

卒業はもうすぐだ。
 もう小学校ともお別れだな。
 一年生から今まで、まるで一日しかたっていないみたい。
 ふと本ばこから一年生のときのノードがみつかった。
 まずからいっばいはみだした字でもいっしょうけんめい書いた字
 先生が黒板に大きく書いてくださった字を一つ一つ見て書いた。
 そして大きな赤まるをもらった時のうれしさ、
 男の子とおいかげごっこもした一年生のとき、
 まるで昨日のことみたい
 六年前の桃の花が
 同じように咲いている……

田 口 様

小 報 班
 三 会 行 報
 友 友 友 友
 発 友 友 友
 教 養 部 会 報
 島 育 教 養 部

本年度の反省

育友会長 本田 卷 男

うれしい、ありがたい年であった。
 昭和四十一年度を終るにあたり、一年間を振りかえってみたいと思います
 第一に、みなさんとともに喜びたいことは、県下育友会平戸大会の席上で本育友会が優良育友会として表彰を受けたことであります。

これは、私は不肖でありましたが、育友会の皆さんや役員の方々のご協力のたまものでありまして厚く御礼申し上げます。
 各専門部の活動について申し上げてみますと、
 教養部では、育友会報の発行が軌道にのり、学級班の自主的な研究、育友会文庫の拡充や夏休み中の巡回閲読等努力してまいりました。
 諸会合の出席率の向上につきました。は、例年とも取り上げられている事項であります。本年は昨年よりも或る程度の向上をみたようであります。
 研修旅行は、福岡市内小学校のプー

78 181

ルを視察いたしました。が結局、本年度にプール建設の決定をみるととなり大変有意義なものであったと思えます
 昨年度来取り上げてきました家庭会議の問題は、積極性を欠き、進展をみなかったようでありまして、この面につきましては、来年度以降もっと努力すべきだと考えております。

生活部におきましては、各少年団の年間計画を立て、子どもの年間の生活指導に努力され、特に夏休暇中における各町の真摯なご指導には感謝にたえません。

子どもさんの、ことは行動が漸次美しく正しくなりつつありますことは、同慶のいたりであります。
 年間を通しての土曜日町内清掃は、第四年目を迎えて、一応軌道にのった感がありますが、やはり、大人がまじって指導される町内は立派にいつているようであります。

兎島海水浴場の運営では、無事故であったし、漁業会・温泉観光会社・島原海遊組合のご理解ご支援によって施設設備もだんだん拡充されつつあります。

夏休み中の町内対抗競技は、役員のご苦勞の大きなものがありますが、年

とともに盛んになつてゐるようです。広馬場・畑池通学道路踏切等の交通安全については、当地域の方々の積極的な交通指導・元船津少年団の一斉登校のご指導には頭の下がる思いがいたします。

過日、田浦猶藏氏の提言もあつて、広馬場熊本相互銀行前に歩行者専用の交通信号機の設置方を警察に陳情しておきましたところ、南風楼のご母堂様ご逝去のご香典がえして近く設置されるということになりました。有難いこととあります。

施設委員会においては、市に陳情しております二階校舎へのコンクリ渡廊下の改修、一中よりの払いさげ螢光灯十四本があり、特に、宿望のピアノ購入がなされたことは、財政不如意な市財政の現状からして、感謝にたえません。

校地の拡張については、関係地主さんのご好意で明かるい見通しがあることは喜ばしいこととあります。この大事業と併行して、水泳プール建設という、歴史的大事業が決定され、積立募金が開始されましたが、予想以上の好成绩であり、育友会の皆様はもとより白山地区町内会長さんをはじめとして、

地区の人々が本校教育に寄せられる絶大なご協力には、今更ながらびっくりいたしました。

私は不肖であります、この大事業に関係させていただきましたことを感謝いたしております。どうかこれから、ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

三小の子どもの学力も相当な向上をみたというところでありますし、また、体位の向上等、本場に輝くうれしい、ありがたい年であつたと思ひます。

◎◎◎◎◎◎◎◎◎◎◎◎◎◎◎◎

本年度の反省

◎◎◎◎◎◎◎◎◎◎◎◎◎◎◎◎

学校長 松本 歳

充実の年、飛躍の年であつた。

何よりも、お子さん方の生命に関するような、交通事故その他の事故がな

かつたことを嬉しく思います。

生活面においても特別心配するような非行もなかつたことは、保護者の皆様や役員の皆様のご指導のおかげであると感謝いたしております。

しかし、ことは正しく美しくする運動第四年目は、多忙に迫られたせ

か中だるみしたような感じでした。

菓子類の道路での立食いや、その食べかすをそのまま、道路に捨てることは観光都市・鳥原市の玄関である本地区としては大いに反省し、ご家庭と協力して、来年度はもっとも努力しなければならぬ大事なことだと思つております。

本校児童の体位は、全般的な食生活の向上や学校給食もあつてか、一部体重胸囲が全国平均に少し足りない学年がありますが、殆んど全国平均を上廻り、市内小学校でも上位にありますことはご同慶にたえません。

殊に本年度の小体連におきましては総合的に第一位の優秀の成績でありましたことは嬉しい限りでありまして、県下の最高レベルを行く記録もまじえて九つの新記録を本校から出すことができました。

学業面におきましては、数年来国語の読解力の指導を中心として、全教科の学力向上をめざしてまいりました。特に本年度は、県教育委員会から学力向上のための研究実践学校として、県下四校のうちの一つに選ばれ、懸命に研究努力してまいりました。そして昨年十一月十六日自発的に、

県下に呼びかけての研究発表会を開催しましたが、参加者は二百名位を予想していましたが、約四百名の参加者があり大盛会で、子どもの力のついでいる姿に驚ろいて帰られたということとであります。

しかし、果して、どれ位の向上をみているか、もっとはつきりしたところを知りたいと思ひ、文部省の学力調査や、昨年三月三日に実施した標準テストを本年三月三日に実施しましたところ、文部省学力調査においては非常な向上を見、国語においては全国平均、算数においては全国平均をはるかに上廻わる驚くべき上昇ぶりでありました標準テストにおきましても、国・社・算・理とも、各学年、全領域（検査のねらいがわかれている各問題）にわたってすべて、九州全国をはるかに上廻っており、決して他校に負けない力をもっているということが、はつきりわかって、少しは声を大きくしてご報告申し上げることができまことを嬉しく思います。

まだまだこれくらいにおごらず、さらに来年度は九州全域に呼びかけての研究発表会を予定しております。

その他、夏休みに先生方のご努力で

西彼、佐賀、天草方面をトラックで廻り、岩石園ができあがり、校内気象部の活動、柔剣道部の新設、理科の掲示教育等の努力があり、また、皆様のご協力によって三小にも鼓笛隊ベレー帽の購入がなされ、特に歴史的大事業というべき、校地の拡張、水泳プールに建設の決定をみたことは特筆すべきことで、本年度は充実と飛躍の年であったと思ひます。

これ、ひとえに皆様のご支援ご協力のたまものであり、ただ感謝感激お礼のことばをしりません。今後ともどうぞよろしくお願い申します。

学校だより

子どもたちの学力向上

標準テストの結果から

本校では去る三月三日四日の両日全校一斉に四教科の標準テストを実施しました。

算数国語は昨年の三月三日に実施したものと同一問題を実施して、その結果を比較してみますと、本年度は昨年

度よりうんと向上していることがわかります。

社会・理科は昨年度実施してないので比較は出来ませんが、全国の平均とくらべてみますと相当上廻わっていることがわかります。

四教科の成績は次の通りです。

なお偏差値とは得点を各学年標準化したもので、これは表によって算出されるもので、段階の1 2 3 4 5は、1が一番悪くて、5が一番よいことを示しています。

◎国語

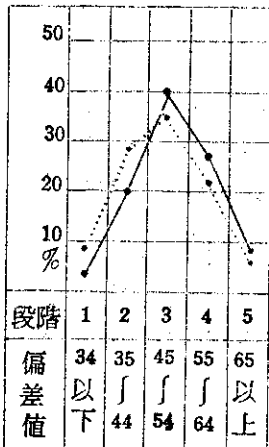
・全校平均（百点満点の平均）

本年度 七四、一

昨年度 六五、八

九州平均 五九、五

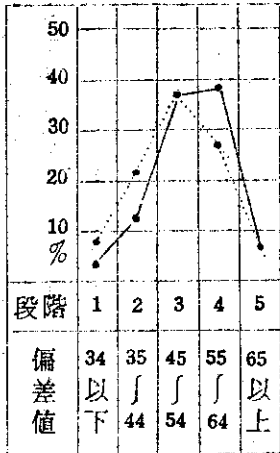
・偏差値の分布



— 本年度 昨年度

◎算数

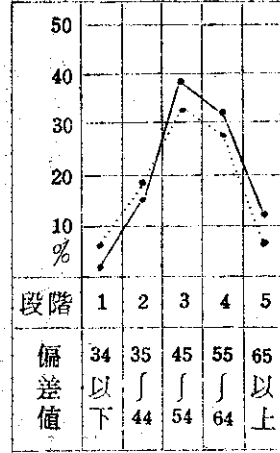
・全校平均（国語と同じ）



—— 本年度 昨年度

全 本 全
国 校 国
四 五
六 二

◎社会
・全校偏差値の平均
(百点満点になっていないので
偏差値で比較)

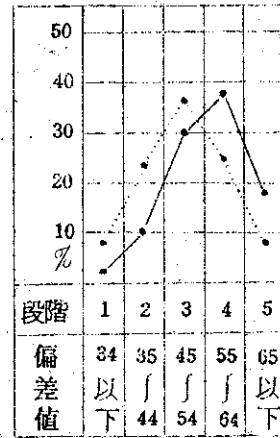


—— 本年度 昨年度

・偏差値の分布
本年度 七〇、二
昨年度 六六、三
九州平均 六五、八

螢の光に送られて
二百十九名の卒業生
—— 奠立つ ——

第二十回卒業生二百十九名の卒業証書授与式は市長代理をはじめ来賓多数



—— 本年度 昨年度

◎理科
・全校偏差値の平均 (社会と同じ)
全 本 全
国 校 国
四 五
七 四

本校が国語学習の研究ととりくんでから第一年目の成果は全般的にある程度向上していることが右のグラフからも、はっきりいえると思います。しかし、こまかに分析してみますと色々の問題点が残されていますので、今後全職員一丸となって問題点の解決に努力して行きたいと思えます。

の臨席を得て三月二十日午前十時から本校講堂で厳粛裏に挙行されました。進学の夢に胸をふくらました卒業生は手に手に卒業証書と記念品をしっかりと握りしめ、万感こもこも迫る六年間の数々の思い出を胸に秘め、玄関前にと列した五年生鼓笛隊の吹奏する、螢の光や恩師並に在校生代表の拍手に送られ、晴やかに校門を奠立っていきました。

送るもの、送られるもの、立場こそ違え、今日のこの感激は忘れ難い人生の一コマとして永遠に、お互いの胸に相呼応して生き残ることでしよう。

奠立つに先きだち、六年間世話になった母校のため何かを残して心の記念にしようと学年会で話しあい、
○運動場に赤土を入れて整地をする
同時に校内の美化作業等尊い汗の奉仕をしてくれました。

○母校の割期的大事業として目下企画推進されつつある、プール建設の一翼をにない、これが付帯施設としてすべり台壱基を卒業記念に贈呈し、後輩の幸を希おうと多額の基金を式当日に寄贈してくれました。
卒業生の皆さん、ありがとう。
みなさんの母校を想う誠心は後輩の

ため、どんなに役だち、どんなにしろ
こばれることでしょう。
中学校に進まれても、健康に留意さ
れしっかりがんばって勉強してくださ
る。

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆
女性豆剣士
気炎を吐く
三小第一回武道大会
☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

本校第一回武道大会は去る三月十一
日午后二時から本校講堂で、竹下南高
郡市柔道協会長喜多同副会長長光永剣道
師範等関係者多数の臨席を得て盛大に
挙行されました。

昨年の七月剣道部柔道部それぞれ
三〇―五〇名の部員をもって発足し毎
週二回放課後それぞれ練習に励んでき
ました。
日が浅いので技には未熟ですが、当
日の豆部員たちははじめての大会とあ
って大いに張り切り、武道精神にのっ
とり正々堂々と覇を競いました。四年
生の片山やすよさん、宮崎展枝さんの
異色剣士の堂々たる試合ぶりや六年生
柔道部員全員による投げの型など本大

会に異彩をはなちました。
各部の戦績つぎのとおりです。

…… 剣道部 ……

△六年 ① 古瀬寛二 ② 前田正彦
③ 伊藤博

△五年 ① 広瀬誠洋 ② 前田展嗣
③ 本田光二 ④ 小鉢雄弘

△四年 ① 堀口雅彦 ② 本田哲也
③ 松田信昭 ④ 松本史郎

…… 柔道部 ……

△六年 ① 鬼塚栄 ② 近藤孝 ③ 島田照一
④ 佐藤英輝 ⑤ 坪田清人

△五年 ① 松本太一郎 ② 松尾一洋
③ 高見彰久

△四年 ① 中村博行 ② 西本政昭
③ 松田哲弘

なお剣道部の指導は光永師範のなみ
なみならぬ日頃からのご協力を得てお
り、柔道部は創設当初喜多猛先生をは
じめ竹下助一さん要名本亨さん尾藤公
一郎さん高木義弘さん等の尊いご芳志
により柔道畳三十二枚更にユニオンス
ポーツ店からは柔道衣五着のそれぞれ
ご寄贈を賜りました。
本校柔・剣道部の育成発展のためこ
のように物心両面から多大の貢献をし
ていただいておりますことをご報告申
しあげ、ここに皆さんと共にこのご厚

志に対し敬意と感謝の誠を捧げたいと
存じます。

遠足の
副食代と服装



前号で秋の遠足のおり、副食代と服
装についてお互い派手にならぬよう自
粛して、質素で手軽な遠足にしようと
児童会で申しあわせて実施したが、結
果はよく守られなかったと、いうこと
は耳あたらしいことと思えます。
先日のおわかれ遠足のときも、秋の
遠足の反省をもとにして、

○副食物は百円以内とする。

○服装はふだん着で。

という申しあわせて実施されました。
ところが子供達の自覚と家庭の協力
が実を結すんだのか、秋の遠足に比べ
全般的によくまもられ、特に服装の面
では、体育の服装の姿が目立って多く
ほんの一部を除いて、本当に遠足らし
いでした。

今後このように遠足の目的を理解
し質実剛健といった、質素で手軽な遠
足にしたいものです。

特に体育帽に体育スボンの着用は活動的
的で体育行事の一環として行われる遠
足にはもってこいの服装だとおもわれ
ます。

真心のかずかず

広馬場 山崎真弘様

ご祖母さんの死去に際し香典返しに
金吉封をご寄贈くださいました。

新山 村上義勝様

暗い教室解消に役立ててほしいと螢
光燈一〇本をご寄贈くださいました。

坂上 高木熊男様

長女洋子さんの卒業に当り校内清掃に
使ってくださいと雑巾をたくさんご寄
贈くださいました。

中組 古川敏十郎様

理科教材用としてリンゴの木杢本をご
寄贈くださいました。

この他にもプール建設基金として、
すでに十数名の方から多額の特志寄附

のお申込みをお受けしておりますが、
別の機会に改めてご報告申しあげること
にして、これら温い皆さんのご芳志
に対し深甚の感謝を申しあげたいとお
もいます。

春休みのくらしかた

- 1 前学年を反省し、新学年の計画をたてる。
- 2 規律正しい生活をする。
- 3 お友だちと、なかよく楽しくくらす。
- 4 健康・安全生活に留意する。

一学習について

- (ア) 前学年の学習など整理し、新学年の準備をする。
- (イ) 教科書・ノート・学習用具などを予習復習など計画をたてて勉強する。

- ・ 低学年 一時間以上
- ・ 中学年 一時間以上
- ・ 高学年 一時間半以上
- (ウ) テレビの学校放送の時間なども利用する。

ニお手つたいは毎日きめて実行する。

ニ遊びについて

- (ア) あぶない場所で遊ばない。
- (イ) 交通のままりを守る。
- ・ 特に道路上で遊ばない。
- ・ 自転車の二人のりはぜったいしない
- (ウ) 注意をうけるような、悪いおこないはぜったいしない。
- (エ) 夜あそびはしない。(午後六時までは家にかえる)
- (オ) むだづかいをしない。
- (カ) 先生がたにおたよりなど出す。(特に卒業生)
- (キ) あいさつをりっぱにし、美しいことをつかう。
- 四 道路そうじや学校そうじに参加する
- ・ 新三年 一 新六年

あとがき

育友会報 がんば 第六号をお届け
いたします。

今年度特筆すべきことは、本文にもあ
るとおり、待望の水泳プール建設に向
っての第一歩を印したことです。
一日も早くその完成を祈りながら、
あとがきといたします。